

秩父別町地域おこし協力隊体験談



名前 木村 優月
きむら ゆづき

1. 移住前の仕事や生活環境

秩父別町へ来る前は高校を卒業してから約三年半、スーパーで正社員として勤務していました。職場は家から車で約二十分のもので、人手不足のため毎日が残業のような状態だったので、働いている時間と通勤時間を合わせると拘束時間は約半日でした。そんな生活が嫌になり、退職することを決意しました。

2. 秩父別町への移住のきっかけや

その際の心境変化の状況

退職することが決まってから、最初は地元であ

る伊達市内の求人を探していました。もともと退職することを決意する前から求人サイトは見えていたのですが、いつ見ても変わり映えせず、興味の湧く仕事が見つかりませんでした。

そんなときに私の母から「地域おこし協力隊」という仕事があること、秩父別町でも募集していることを教えてもらい、生まれてから二十一年間実家暮らしだった私の背中を押してくれました。募集内容が特産品の製造・開発で食に関わる仕事で興味があつたことや、Zoomでの説明会や協力隊の方が町の説明や生活の様子を写真と共に紹介してくれた際に、町民の方と交流している様子がとても楽しそうだったので印象的でした。また、秩父別町には訪れたことはありませんでしたが、隣の深川市に友人がいたため、一人暮らしを始めるには心強いと思い、挑戦することに決めました。

3. 町での仕事や生活をしてみての感想

一年目

一年目は町や加工センターのことを知るために加工教室のお手伝いをしたり、利用者さんと会話しながらパンや豆腐など色々なものを作ったり、特産品の『緑のナポリタソース』や『かぼちゃのポタージュ』の製造をしました。

着任した日はちょうど料理教室の開催日で、初日から美味しいものを食べさせていただいたことを今でも覚えています(笑)

トマトの栽培時期が近づくとう育苗施設で種まきを体験したり、農家さんのところに行って定植のお手伝いをさせてもらったり、振興公社で育てているトマトの管理の仕方について教えてもらいながら、トマトジュースの製造に参加しました。

手作業でヘタや傷をくり抜いた後に、機械で砕かれたトマトを大きな釜で混ぜながらアクを取る『釜炊き』という作業が、体力とスピードが大事でとても難しく大変でした。



トマトの定植作業

二年目

二年目は、くるりで行われる加工教室のサポートだけでなく、初めて私が主体となりくるりの機械を使った『おせち料理教室』を開催し、栗きんとんや黒豆、田作りを真空パックにしました。他には振興公社のトマトジュースの注文を受けたり事務作業なども行っていました。

夏のトマト栽培は、一年目は基本的に振興公社がハウスで育てていたトマトの管理を手伝って

ましたが、二年目からは、なつみの里の使われていない畑で露地栽培に挑戦しました。水や肥料をあげる頻度などを教えてもらったり、沢山サポートしていただきながら栽培しました。夏期限定で道外からなつみの里を利用しに来ている方たちが声をかけてくれた日は、談笑しながら楽しく作業できたりもしました。

特産品関係では、ちっぷの里の皆さんが製造していた笹だんご『蒸すめさん』が二〇二三年十二月末で製造終了することが決定していたので、次の担い手が見つかった時にレシピを残す作業を担当しました。そのために、ちっぷの里の皆さんは笹だんごに使用するヨモギや笹を自分たちで採っていたので、私も一緒にヨモギ採りや笹取りをしに行きました。

笹取りは森の中なので、いつクマと遭遇してもおかしくないような状況でした。蜂などの虫も沢山いるので、常に警戒していたのを覚えています。

イベント関連は、一年目の研修などはZoomでのオンライン開催がメインだったり、町外でのイベント参加は旭川の『駅マルシェ』くらいでしたが、二年目は空知管内の協力隊と集まって『協力隊マルシェ』を開催できたり、対面式の全道研修や札幌にイベントにも参加できたので、空知だけでなく様々な地域の協力隊と知り合うことができました。

三年目

三年目に携わった業務は二年目と基本的には変わりませんでした。コロナの影響で一時的に行われていなかった『緑のナポリタン学校給食』が復活したので、提供のお手伝いに参加しました。三年目は一、二年目と比べて沢山子どもたちとも交流できました。

さらに、インバウンド事業を担当しているタイ人のアンさんから依頼されたことをきっかけに、秩父別町にやってきたタイ人観光客の皆さんと一緒に秩父別産のお米を使用しておにぎり作りを何度か行いました。



タイ人とのおにぎり作り

秋にはちっぷの里の皆さんに協力をお願いし、製造終了してしまった笹だんごを作る加工教室を開催することができました。

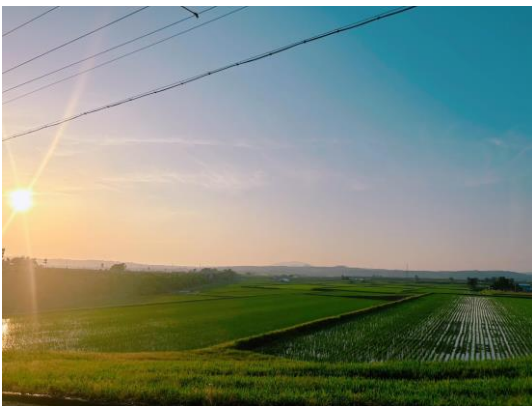
4. 今後の仕事や生活の展開予定

退任後は秩父別町から隣の深川市に引っ越ししてしましますが、秩父別町での就職が決定しました。次も食に関するお仕事なので、加工センターでの業務などで学んだ知識などを活かせると思います。

参考1…町の面白いところ

またはお気に入りの場所

お気に入りの「場所」というよりも「景色」なのですが、夕方一人で近所を散歩していたら田んぼがすごく綺麗で、そこから「夕方の田んぼ」の景色がとても好きです。
(ただ、見ることができる時期は限られてしまいますが・・・)



参考2…募集する協力隊向け一言アドバイス

(理由も)

着任前の私は『この仕事楽しそうに挑戦したい！』という気持ちと何とかなるだろう精神だけでこの町にやってきたので、結局任期満了ギリギリまで『退任後に自分は何がしたいのか』という事で悩んでいました。なので、『この町でどういふことがしたいか。退任後はどうしたいか』というのは、余裕を持って早めに考えておくべきだったなど、つくづく感じています。